



申13号

2023年度夏季手当等に関する申し入れを行う!

要求内容!

基準内賃金の

3.0ヶ月

コロナ禍において奮闘を続けてきた
組合員・社員に対する特別手当として
全従業員(出向者含む)対象に

一律 10万円

支払は6月30日まで

回答は6月9日まで

●基準内賃金の3.0ヶ月を要求!

2022年度期末決算(連結)は、コロナ禍の影響から鉄道利用などが回復し、全セグメントが増収、全体でも2期連続の増収、各損益は3期ぶりに黒字転換、フリーキャッシュ・フローが4期ぶりにプラスに転換しました。また、単体決算についても営業収益は前年比124%、各損益は3期ぶりに黒字転換となりました!

23春闘では3年ぶりのベアが実施となったものの、21春闘での定昇カットにより生涯賃金が減額され、歴史的な物価高にも直面し、実質賃金が大きく目減りし、苦しい生活を余儀なくされている実態が続いています!

会社発足以降最大の変革として示されている施策が具体的に進み「融合と連携」等により更なる生産性向上が求められ、労働密度が高まり続けている実感や実態があるにも関わらず、賃金の抑制が続いていることから、過去最高の働き度に賃金が追いついていないなどの実感や実態は変わりません。また、コスト削減の取り組みにも継続して向き合い奮闘しています!

「離職」への危機感を訴え続けてきましたが、系統問わずひっ迫した要員問題が発生している中、賃金も含めて将来に不安を抱く社員が多くなり、人材流出が止まらない状況に危機感は増しています!

職場の弛まぬ努力に報いて、満額回答すべきだ!

●コロナ禍において奮闘を続けてきた組合員・社員に対する特別手当、一律10万円を要求!

この3年間の期末手当交渉では、コロナ対応に対する特別手当を求め続けてきましたが、要求に対する回答はなく、納得感も持てず不満や将来を不安視する声があげられています!職場の切実な要求に応えるべきだ!

23春闘の総括を教訓に要求実現に向けて 職場からたたかいをつくり出そう!